

自分らしく
たくましく

高等部通信



- ・豊かな感性をもち、心身共に健やかな生徒
- ・自分で考え、判断し、生活することを楽しむ生徒
- ・お互いの良さを認め合い、共に活動する生徒
- ・働くことを喜び、自ら社会に参加する生徒

働く力を付けるために真剣なまなざしで ～「できる」喜び。時々、悔しさをバネにして～



社会生活に必要な持続性や巧緻性、働く態度を身に付けること、意欲や見通しをもって、自分と他者との協力について考えることをねらいに、作業学習に取り組んでいます。1年生が加わり、それぞれの作業班が新体制で本格的に始動しました。今月は、自分の作業内容を理解することや、報告や相談等、働くときの基本的な技術を覚えることを目指して、生徒一人一人が熱心に学習活動に励んでいます。日々の作業学習に一生懸命に取り組むのはもちろんのこと、毎時間、活動後に振り返りを行い、自分の成果を確認します。振り返りの発表の際、「難しかったけど、最後は成功してうれしかったです」や「先輩に教えてもらったおかげでできるようになりました」と話す生徒がおり、最初は上手にできなくても粘り強くやり遂げようとする姿や、他者の協力に感謝しながら取り組んでいる姿がたくさん見られています。6月に実施する前期就業体験実習に向けて、「職業」の授業も含めて、指導・支援を続けていきます。

陶芸班



丁寧に製品を作ります

総合
サービス業
班

先輩後輩で協力して取り組んでいます

木工班



道具や機械の使い方を覚えました

☀️運動で一日のはじまりをほがらかに

体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、心の安定と体力の向上を図り、自分で考えて取り組むことをねらいに、朝の運動に取り組んでいます。晴れた日には、校庭でサーキット運動やシャトルランを行います。自分で行いたいものを選び、目標を決めて取り組んでいます。青葉山の澄んだ空気と心地よい風に包まれて、さわやかな汗をかきながら頑張っています。走り終わった後に記入する記録カードには、一人一人の頑張った証がどんどん蓄積されています。



文責：吉岡 優